

秋の西里 稲刈り「初」体験

特定非営利活動法人複合力

複合力は、清水森林公园やすらぎの森を中心に、耕作放棄地を利用しての米作り、地元企業と協働した自主製品の製造販売、天然素材を活用してのワークショップなどを通じて地域の魅力を発信し続けています。丹精して育てた稲を刈り取る作業があると聞き、センタースタッフが恐る恐る参加してきました。



刈り取った稲束を稻架（杭に横木を渡した棒状のもの）に掛けて太陽と風の力で自然乾燥させる伝統的な方法で、稻架掛け(はさがけ)といいます。

今は機械で乾燥させたり脱穀させたりするけれど、自然の力で乾かす方が美味しいんだよ、ただ、手間と時間がかかるし、これから時期台風が心配なんだけどね。
この作業を一ヶ月かけてやるんだよ、



稻束を掛ける「稻架掛け（はさがけ）」のお手伝い。1時間ごとに水分補給と休憩を挟みながらでも、日頃建物内で仕事をしている私には、日差しの強さと運動不足から途中離脱。

この体験で、過酷な作業を毎日続けている農家さんに、改めて感謝。

